

事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	単位互換（産学連携科目）				
3. 事業趣旨	加盟大学の正規科目を単位互換科目として提供し、学生が大学の枠を超えて受講・単位取得できる、2008年4月より開始した制度であり、本年度は、読売新聞社提携講座として明星大学（前期）、中央大学（後期）として実施（それぞれ15回講義）した。				
4. 事業内容・実績	<p>【実施内容】 本年度、読売新聞社提携講座として明星大学（前期）、中央大学（後期）にて実施。</p> <p>前期：明星大学 「現役記者が教える英字新聞のツボ」 受講者数：32名（明星大学29名、実践女子大学2名、多摩大学1名） 講座概略（全15回） ◆見出しの英語◆リードの機能◆発生モノの記事◆犯罪事件の英語◆経済ニュースその1◆経済ニュースその2◆これまでの補足/中間試験◆国際ニュースを読むその1◆国際ニュースを読むその2◆グループワーク（プレゼンテーション準備）◆グループワーク（プレゼンテーション実施）◆国会の仕事◆「官邸」という空間◆DVDで学ぶ政治◆期末試験</p> <p>後期：中央大学 「現代社会と新聞」 受講者数：106名（中央大学生：95名、他大学生：7名） 講座概略（全15回） ◆オリエンテーション◆ジャーナリズム総論◆安倍政権下の政治報道◆経済報道の現状と課題◆事件報道と調査報道◆国際報道から考える◆科学報道のいま◆わかりやすい医療記事について◆社説について◆くらし面のこれまで・これから◆社会保障制度の問題点を考える◆沖縄問題を考える◆新聞のデジタル戦略～新聞社のサービスからみる◆ディスカッション～現代社会と新聞について考える◆まとめ</p>				
5. 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・明星大学の講座については英字新聞を購入する必要があり強い受講意思の学生に限られるため、相当する受講者数となっている。 ・より受講者を増やすために、来年度に向けて担当教員、読売新聞関係者、明星大学事務局、ネットワーク多摩事務局で大幅な改善案を策定済みである。 ・中央大学の講座については担当教員より十分な成果ありとの報告を受けている。 ・同受講生からは、新聞社内部の知見、現場記者の見解などを知る機会として、非常に関心を持たれている。 ・中央大学については他大学からの学生参加を増やすため、魅力ある講義である旨の教員コメントをネットワーク多摩広報誌に掲載した。（広報誌5号） 				
6. 執行体制	大学・企業部会、参加大学担当者、事務局・読売新聞社担当者				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差異	備考
	収入	400,000	400,000	0	読売新聞東京本社 寄附金400,000円
	支出	1,306,000	1,340,588	34,588	
	収支	△ 906,000	△ 940,588	△ 34,588	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	多摩未来奨学金				
3. 事業趣旨	<p>多摩未来奨学金は、加盟機関や多摩地域の企業・団体等からの寄附金を原資とし、加盟大学・短期大学の学生を対象とした給付型の奨学金制度である。 ネットワーク多摩の加盟大学・短期大学で学ぶ学生を、産官学（職員、教員、社員等）が協働し、多摩地域の活性化を目的とした活動等（多摩未来奨学生プロジェクト）を通して育成することを目的とする。また、資金を拠出していただいた企業・団体等にとってもメリットが得られ、大学にとっても有為な人材を社会に送り出す手立てとなる制度となることを目指す。</p>				
4. 事業内容・実績	<p>【平成28年度多摩未来奨学金実績】 ◆学内選考 平成28年4月～10月 ◆応募期間 推薦：平成28年10月1日（土）～10月27日（木） 公募：平成28年10月21日（金）～10月27日（木） ◆応募者 27（公募2名 推薦25名（12大学：亜細亜、桜美林、嘉悦、白梅学園短期、創価、拓殖、玉川、多摩、中央、帝京、法政、明星）＜50音順＞ ◆書類選考 平成28年11月2日（水）～11月11日（金） ◆最終選考 平成28年11月20日（日） Winプラザ多摩センター ◆結果 24名採用（11加盟大学、推薦23名、公募1名） ◆交付式 平成28年12月4日（日） 明星大学（32号館108教室） ◆寄附金 寄附企業 44社1個人 寄附金額 850万円（2017.3.31現在） ◆ご支援 ミテモ株式会社より、4期生全員にE-Learning の学習環境の支援あり ◆包括協定 25大学（桜美林、大妻女子、嘉悦、恵泉女学園、実践女子、実践女子短期、白梅学園短期、創価、創価女子短期、拓殖、玉川、中央、帝京、帝京短期、デジタルハリウッド、東京工科、法政、明星、日本獣医生命科学、和光、多摩、電気通信、亜細亜、亜細亜短期部）＜締結日順＞</p> <p>【平成27年度 3期生多摩未来奨学生プロジェクト】 ◆集合研修 平成28年2月 6日（土） たましん事業支援センター（Winセンター） ◆集合研修 平成28年6月25日（土） 明星大学（28号館206教室） （講師：明星大学・明星教育センター） ◆中間発表会 平成28年8月27日（土） 明星大学（28号館プレゼンルーム） ◆社長講演会 平成28年10月8日（土） たましん事業支援センター（Winセンター） （山三電機会長、京西テクノス社長） ◆提言発表会 平成28年12月4日（日） 明星大学（32号館108教室） ◆提言報告書 平成29年3月31日（金） 印刷注文発注</p> <p>【多摩未来奨学金委員会】 次期5期生については平成30年度4月から募集する改組を決定し、加盟大学へ周知した。</p>				
5. 評価	<p>今年度4期生の募集については、12大学から27名の学生の応募があり、うち2名は公募であり、24名を採用した。公募の理由は学長推薦枠3名を超えたため、あるいは推薦書類が整わなかったことが大きな要因であった。また、本年度は学長推薦の順位付けを撤廃した。書類審査は円滑であって、コーディネーターを含めた面接の手順も順調であった。多摩未来奨学金制度4年目として寄附協賛企業と寄附金額の増加が見られない点は重大な課題となっている。また、平成27年度多摩未来奨学生プロジェクトは4月から12月まで3グループによる活動が行われ、12月の最終提言発表も無事に終了し、文科省の特別講演も付加されて参加者からは好評を得ることができた。本奨学金制度の見直しのため多摩未来奨学金委員会を立ち上げた。自己研鑽の目的で4期生全員にE-Learning（ミテモ株式会社提供）を実施した。</p>				
6. 執行体制	多摩未来奨学生コーディネーター、多摩未来奨学金評価委員会、多摩未来奨学金委員会（H28～）、事務局				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差額	備考
	繰越金	6,061,111	6,061,111	0	
	収入	10,500,000	10,000,000	△ 500,000	補助金：1,500,000円 寄附金：8,500,000円
	支出	10,320,000	10,432,691	112,691	3期生 奨学金給付額3,600,000円 4期生 奨学金給付額3,600,000円
	合計	6,241,111	5,628,420	△ 612,691	

多摩未来奨学金 実績報告

平成25年度

	前年度繰越額	収入	支出	次年度繰越額
補助金	0	1,500,000	917,854	582,146
寄附金	0	6,350,000	5,700,000	650,000
合計	0	7,850,000	6,617,854	1,232,146

平成25(2013)年度 第1期生奨学金交付額 19名 5,700,000円

平成26年度

	前年度繰越額	収入	支出	次年度繰越額
補助金	582,146	1,500,000	2,082,146	0
寄附金	650,000	8,250,000	6,676,633	2,223,367
合計	1,232,146	9,750,000	8,758,779	2,223,367

平成26(2014)年度 第2期生奨学金交付額 22名 6,600,000円

平成27年度

	前年度繰越額	収入	支出	次年度繰越額
補助金	0	1,500,000	1,500,000	0
寄附金	2,223,367	8,150,000	4,312,256	6,061,111
合計	2,223,367	9,650,000	5,812,256	6,061,111

平成27(2015)年度 第3期生奨学金交付額 25名 3,750,000円
奨学金分割支給のため、3,750,000円は次年度繰越へ

平成28年度

	前年度繰越額	収入	支出	次年度繰越額
補助金	0	1,500,000	1,500,000	0
寄附金	6,061,111	8,500,000	8,932,691	5,628,420
合計	6,061,111	10,000,000	10,432,691	5,628,420

平成27(2015)年度 第3期生奨学金交付額 24名 3,600,000円

平成28(2016)年度 第4期生奨学金交付額 24名 3,600,000円

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	就職支援事業				
3. 事業趣旨	大学の未内定卒業生が社会問題となる中、地域中小企業における大学卒業生の採用は困難な状況にある。この就職ミスマッチ問題を解消するために、就職説明会の実施、インターンシップ支援やワークプレイスメントの推進を行う。				
4. 事業内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆インターンシップ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・嘉悦大学から委託を受け、企業研究・企業実習講座の実施。 全30回、8名が受講 社会へ出ることの意義を基軸とした授業及びインターンシップの実施 ◆ワークプレイスメントの実施 <ul style="list-style-type: none"> 学生情報センターと連携してワークプレイスメントの実施。 ◆就業力アップ支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> (株)立飛ホールディングスから受託した、「ららぽーと立川立飛」の実証的調査業務を学生がアンケート調査から分析、報告書作成までを行うことにより就業力を養う。 ◆就職説明会の周知 <ul style="list-style-type: none"> (公財)東京しごと財団開催の就職説明会への後援の実施 5月17日 京王プラザホテル八王子 7月 7日 京王プラザホテル多摩 10月 4日 立川グランドホテル 11月14日 京王プラザホテル八王子 2月 6日 立川グランドホテル 				
5. 評価	新卒の就職環境は、改善されてきているものの、大学等における就職、地域企業における採用は重要な課題であり、就職支援事業としての活動は十分であるといえない。 多摩未来奨学金などにより繋がりのできた地域企業の採用情報の収集と、大学等への提供によるマッチング、地域企業へのインターンシップ等への取り組みをなどを進めることで、事業の活性化を図っていく必要がある。				
6. 執行体制	(特非) 日本ITイノベーション協会、(株)ナジック・アイ・サポート、事務局				
7. 事業収支 (単位:円)		計画	実績	差異	備考
	収入	7,000,000	8,884,017	1,884,017	嘉悦大学 委託金324,000円 (株)立飛ホールディングス 委託金7,560,000円 (一財)日本SOHO協会 助成金1,000,000円
	支出	6,535,000	7,606,099	1,071,099	
	収支	465,000	1,277,918	812,918	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	学生生活支援事業				
3. 事業趣旨	<p>新入生・在校生を対象とした「一人暮らしの学生のトータルケア」を、活動拠点AGORA立川にて開催する。</p>				
4. 事業内容・実績	<p>一人暮らしのトータルケア事業</p> <p>◆事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住居情報の提供 2. 加盟行政が提供する地域生活情報 3. 学生による学校情報やアルバイトのアドバイス <p>◆実績</p> <ol style="list-style-type: none"> ①住居情報の提供 決定件数・・・13大学113件（平成29年3月31日現在） ②地域生活情報、学校やアルバイト情報の提供 一人暮らし学内相談会・・・5大学61回 				
5. 評価	<p>各大学内の相談会への来場者数は、帝京大学では微増だったが、全体的には横ばい。昨年同様、WEBを利用しての部屋探しは増加していると思われるが、WEBだけで完結しておらず、実際に部屋を見学したいという意向も多い。</p> <p>紙資料やWEBとだけではわからないことが、実際に見学したことで詳細が分かったという意見が多数であったため、本事業は継続すべきものとする。</p> <p>なお、加盟校全体では、留学生数が増加傾向にあるため、今後に向けて留学生向けの住まい相談についても対応できる体制整備を検討したいと考える。</p>				
6. 執行体制	<p>㈱学生情報センター、事務局</p>				
7. 事業収支（単位：円）	計画	実績	差異	備考	
	収入	0	0	0	
	支出	132,000	1,340	△ 130,660	
	収支	△ 132,000	△ 1,340	130,660	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	多摩の学生まちづくりコンペティション2016				
3. 事業趣旨	地域コミュニティや企業、商店街など多摩地域が元気で新たなあり方を求める。今の魅力と課題をフィールドワークによって得たデータを分析し、発表する学生のまちづくりコンペ。その研究成果を行政や事業者らの前で発表して優秀な提案に賞を贈る。				
4. 事業内容・実績	<p>◆参加資格 教員の指導の下で活動するゼミ団体、個人グループ。 ・申込：22団体（10大学）が正式にエントリーした。 ・22団体の応募テーマ：人口減少する多摩の「元気」まちづくり</p> <p>◆実施概要 【選考会】発表時間は10分（タイムオーバーは2点減点）、質疑応答5分 【本選】発表時間は15分（タイムオーバーは2点減点）、質疑応答5分 採点は、選考会、本選とも50点満点</p> <p>◆選考会 9月17日（土）明星大学で行い3教室（対象市別）に分けそれぞれ16人（行政8名、企業7名、大学教授1名）の審査委員が審査した。結果6団体が本選に出場。発表者を含む約180人が見学した。</p> <p>◆本選 12月18日（日）6団体の出場で、立川市柴崎学習館で行った。審査委員は自治体、企業役員ら7名。発表者37名を含む150人が見学した。</p> <p>・最優秀賞 創価大学 勘坂ゼミ チームKZK 「ムスリムウェルカムタウン八王子」</p> <p>・優秀賞 創価大学 西浦ゼミ 衣料班 「環境にやさしいまちづくり」 東京経済大学 山本ゼミ 「瑞で繋がる多摩のまちづくり」</p> <p>・奨励賞 創価大学 勘坂ゼミ チームコネクト 「学生をもっと主体的に！」 帝京大学 湯川ゼミ1班 「小学生も大学生も学ぶ「たまっ子塾」開講！！」 実践女子大学 須賀ゼミ 「ローカルメディアの可能性の探求」</p> <p>・各会場は、明星大学、立川市にご協力していただいた。</p>				
5. 評価	今回、補助金のご支援を頂き運営・学生団体共に充実したコンペが行えた。3年目で過去最高の10大学23団体がエントリーを行い年々中身のあるプレゼンが実施された。選考会・本選を通じてフィールドワークで終わるのではなく、企業・行政がコラボして事業展開のきっかけを提供できた事はいちばんの収穫でもあった。本選ではJCOMよりテレビ取材を受け、注目度の高いコンペでもあった。また、本選での審査委員選定で会員からの出席が少なく、外部からの審査員員に頼る事になった。今後、より多くの大学団体に参加を促し多摩地域で注目度の高いコンペへと成長させていきたい。				
6. 執行体制	事務局				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差異	備考
	収入	1,000,000	1,000,603	603	(一財) 地域活性化センター 助成金1,000,000円
	支出	1,300,000	1,135,787	△ 164,213	
	収支	△ 300,000	△ 135,184	164,816	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第 I 事業 大学間連携事業				
2. 事業名	全国大学コンソーシアムの展開				
3. 事業趣旨	全国大学コンソーシアム協議会の研究フォーラムに参加し、交流、情報交換、参考事例の収集を行い、本法人の周知と事業活動を紹介する。				
4. 事業内容・実績	<p>◆全国大学コンソーシアム協議会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月21日 第1回運営委員会（大学コンソーシアム京都） ・平成28年9月10日、11日 第13回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム （エリザベト音楽大学・広島国際大学） テーマ「大学連携によるグローバル人材育成」 <p>基調講演：「広島県における人材育成について」広島県知事 湯崎英彦氏 シンポジウム：シンポジスト 長坂康史氏（広島工業大学教授 情報学部長） 須坂俊男氏（マツダ(株)人事室グローバル人事グループ マネージャー） 阿久根昌夫氏（大学コンソーシアム兵庫 事務局長） 太田克司氏（広島県環境民局 大学教育振興担当課長） コーディネーター 志々田まなみ氏（広島経済大学経済学部 教授）</p> <p>文教行政報告：『高等教育政策の動向について』 角田喜彦氏（文部科学省高等教育局大学振興課長）</p> <p>分科会1. 「社会で真に通用する『グローバル人材』の育成法と課題」 2. 「大学を取り巻く環境の変化に対する大学連携によるFD・SDのあり方を 探る」 3. 「地域連携事業の現状と今後のあり方」 4. 「留学生に対する就職支援・キャリア支援」</p> <p>研究フォーラムへは全国から約290名、分科会へは約188名が参加した。 ネットワーク多摩では、第1分科会を担当した。（参加者約40名） 報告者：松橋卓司氏（株式会社メトロール代表取締役社長） 小川正純氏（JICA専任参事、中央大学国際センター・国際プログラム コーディネーター、中央大学大学院公共政策研究科客員教授） 寒河江麗氏（東京海上日動火災保険株式会社 本店営業部課長代理） コーディネーター：細野助博（ネットワーク多摩専務理事、中央大学教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年9月10日 総会（エリザベト音楽大学） ・平成28年9月11日 第2回運営委員会（エリザベト音楽大学） 				
5. 評価	本法人が担当した分科会のアンケート結果から、満足・やや満足が97%を占め、研究交流フォーラムにおける分科会発表については参加者からの満足度は高かったといえる。今後、も本法人の取り組みの紹介や、全国の大学コンソーシアムにおける事例の情報収集を行い、本法人の活動に活かしていく。				
6. 執行体制	全国大学コンソーシアム協議会幹事(小川会長)、運営委員(山根事務局長)、事務局				
7. 事業収支(単位:円)		計画	実績	差異	備考
	収入	150,000	150,000	0	全国大学コンソーシアム協議会 交通費補助
	支出	455,000	523,705	68,705	
	収支	△ 305,000	△ 373,705	△ 68,705	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第Ⅱ事業 地域人材育成と教育力アップ事業			
2. 事業名	知のミュージアム 多摩・武蔵野検定			
3. 事業趣旨	多摩・武蔵野地域に親しみきっかけづくりに多摩・武蔵野検定（タマケン）を生かして多摩地域の特徴・魅力を再発見し、郷土愛を育み、ひいては地域のリーダーとして活躍し、まちづくりにつなげる人材を醸成する。			
4. 事業内容・実績	<p>◆公式テキスト電子版発行 テキストの全面改定がかなわず、やむなくダイヤモンド社HPによる電子版書籍に切り替えて6月に販売。タマケンHPの充実もした。</p> <p>◆多摩・武蔵野検定試験 3月11日、明星大学23号館。申込100人（受検料未納7人、当日欠席19人）、受検74人。</p> <p>受検者内訳 Jr級3人（八王子、立川、西東京市）全員ゴールド（不合格なし3段階評価）。マスター4級9人（八王子、立川、調布、小金井、武蔵村山、西東京市）合格9人。3級38人、合格15人。2級19人、合格5人。1級4人、合格0人。全体の合格率42.2%。</p> <p>◆ガイドツアー「多摩めぐり30」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三鷹市 4月23日。古墳時代から昭和の鼓動を感じる。20人参加。 ・日の出町 6月5日。山里を彩るヒメザゼンソウや動物たちをみる。20人参加。 ・狛江市 7月17日。土器と古墳と日本開港碑にみる狛江の新風。19人参加。 ・調布市 9月18日。甲州街道布田五宿と多摩川と深大寺と映画。24人参加。 ・小平市 10月22日。青梅街道、玉川上水、新田開発…拓ける小平の足跡をみる。26人参加。 ・東大和市 11月5日。狭山丘陵の里を訪ねる。20人参加。 <p>◆多摩めぐり30プラス（テーマ性重視）「シリーズ多摩丘陵①」3月26日。18人参加。いずれもガイドはタマケン合格者。</p> <p>◆タマケン・サポーターズ学習会「埼玉県日高市・高麗人の里を訪ねる」 5月1日。6人参加。</p> <p>◆ガイド派遣 青梅アカデミーハイク 3月25日。一般参加8人、ガイド2人。</p> <p>◆立川市立立川第一中学校 タマケン・マスター4級～立川市検定受検 6月12日、2年生134人受検。56人合格、合格率49.3%。11月7日、1年生124人受検。87人合格。合格率70.2%。</p> <p>◆明星大学「夏休み科学体験教室」出展 7月24日。日野市を中心にしたタマケン模擬問題を出題。200人以上が楽しんだ。福永紙工（立川市）提供のクラフトをプレゼント。</p> <p>◆立川市 ワークショップ×ワークショップedu2016（立川文化芸術のまちづくり協議会実行委員会主催） 11月12日、立川市こども未来センター。立川にまつわるタマケン模擬問題などを体験。親子連れ100人以上が来場。㈱立飛ホールディングス（立川市）提供のイメージキャラクター「たっぴくん・たっぴちゃん」をあしらったストラップが人気だった。</p> <p>◆立川市立小学校全20校5年生（約1400人）が2017年度からタマケン受検を決定 同市教育委員会が2017年1月に発表。2019年度から中学校全9校1年生（見込み1300人余り）も受検する。</p>			
5. 評価	イベントなどに積極的に参加したり、独自展開したりしてタマケンをアピールしている。この結果を会場試験受検者にどのように反映するか課題。立川市公立小中学校が郷土学習の一環として2017年度から（中学校では2019年度）タマケンを導入することを鑑みれば、より一層、タマケンの良さをアピールする必要がある。			
6. 執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会：5人 ・学術委員会：9人 ・主催：ネットワーク多摩 ・後援：東京都、多摩30市町村 			
7. 事業収支（単位：円）	計画	実績	差異	備考
	収入	850,000	393,791	△ 456,209
	支出	848,000	572,707	△ 275,293
	収支	2,000	△ 178,916	△ 180,916

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第Ⅱ事業 地域人材育成と教育力アップ事業				
2. 事業名	多摩地域行政連携事業「政策スクール2016」				
3. 事業趣旨	全国にみられるように多摩地域の自治体でも高齢社会と人口減少という大きな課題を抱える中、これからの行政サービスの在り方と多摩地域をさらに活気づける手立てを探る目的で行政職員と若者の発想で切り込んだワークショップで新しい多摩を提言する。				
4. 事業内容・実績	<p>◆政策スクール2016</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施 2016年10月14日（金）9時～17時、東京市町村職員研修所（府中市新町） ・講演「地域の魅力をデータで可視化する」東大大学院工学系研究科教授 浅見泰司氏 都心各地の商業圏や住宅エリア、通り、景観などをテーマに「魅力」をどう可視化する か。誰にどのように可視化したら効果的かを語った。「それぞれの場の魅力に加え、私が 重要だと思うのは人の魅力。場だけを磨くのではなく、場を磨くことによって、人を磨く 発想が大事」と解いた。 ・WS①「女性のライフスタイルを輝かせる多摩の魅力とは」 ファシリテーター：法政大学現代福祉学部教授 保井美樹氏 WS参加：職員4人、学生3人 多摩には働く場所と住む場所だけでなく、つながりの場所がたくさんある。公共空間を 全部サードプレイスにしてし、人がつながりながら楽しむ環境が多摩にはある。都心は男 性中心の都市だが、多摩は女性発想の都市としてブランド化する構想を導き出した。 WS②「多摩の産業集積をどのように再編すべきか」 ファシリテーター：中央大学経済学部教授 山崎朗氏 WS参加：職員5人、学生2人 横浜市や福岡県がやっているような体系的な産業振興や国際化政策が多摩では実施され ていない。多摩には付加価値の高い計測器、分析器の中堅企業が健在。航空宇宙産業、企 業の研究所も増加している。広域的な視点で新しい多摩の産業集積ができると提言した。 WS③「多摩の魅力を引き出すファシリティマネジメントとは？」 ファシリテーター：日本大学経済学部教授 中川雅之氏 WS参加：職員5人、学生2人 人口減少の影響でファシリティ・マネジメントをやらないと今後、自治体にとって非常 に負担が大きくなる。そのためには議会に住民との調整をお願いする対応とは別に行政が 住民に正確な情報を伝えて本当にためになるのは何かを導き出す役割が重要と、学校の統 合計画を例に挙げて発表した。 				
5. 評価	政策スクール校長である前日野市長・馬場弘融氏は、自身の市長経験での体験を踏まえて「人口減少社会とはいえ、新しい街づくりは、きっと多摩からできると思った。そのポイントは働きやすい多摩に加えて、おしゃれに暮らすというキャッチアイ。多摩には土地に余裕があり、面白い可能性がある。女性に選ばれる多摩でありたい。コンピュータでつながれば、住宅地でも産業集積は可能だ。公共施設は広域的に運用するなど、いろんな手法が考えられる。WSの発表や議論は、具体的に行政が今やっている、やろうとしている、やってきたことに触れる、大変有意義な発表でした」と述べた。				
6. 執行体制	主催 ネットワーク多摩 ・後援：公益財団法人東京市町村自治調査会 運営：ネットワーク多摩 行政部会				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0	
	支出	430,000	222,940	△ 207,060	
	収支	△ 430,000	△ 222,940	207,060	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第II事業 地域人材育成と教育力アップ事業				
2. 事業名	新任大学教員研修				
3. 事業趣旨	<p>大学入試改革と呼応して、従来は一方的な知識の伝達・注入に偏りがちだった高校や大学での学びに、「生徒・学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していくアクティブ・ラーニング」の導入が求められています。本セミナーでは、参加者及び講師との交流を通してアクティブ・ラーニングを体験的に学び、それぞれの教育実践につなげることを目的としている。</p>				
4. 事業内容・実績	<p>◆新任教員研修セミナー</p> <p>実施日：平成28年9月5日（月）～7日（水） 場 所：大学セミナーハウス</p> <p>アイスブレイクⅠ：明星大学人文学部教授 菊池滋夫氏 アイスブレイクⅡ：「アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り」 (SPAプログラム) 大学セミナーハウス所属ファシリテーター 佐藤順子氏</p> <p>アクティブ・ラーニング講座【趣旨説明】 明星大学人文学部教授 菊池滋夫氏 アクティブ・ラーニング講座① 「問題意識の共有と授業改善」 コーディネーター：電気通信大学情報理工学部教授 史 傑氏</p> <p>アクティブ・ラーニング講座② 「多様な学習方法を前提とした効果的な授業運営方法」 コーディネーター：桜美林大学リベラルアーツ群教授 荒木晶子氏</p> <p>講演：「自己点検・評価（PDCAサイクル）」 立命館大学教育開発支援機構教授 安岡高志氏</p> <p>シンポジウム：「現代大学教育論」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の参加を引き出す学習環境構築の取り組み 桜美林大学ビジネス・マネジメント学群講師 有賀清一氏 2. 学習支援に果たす図書館の役割 帝京大学経済学部教授 江夏由樹氏 3. 対応が困難な学生理解のために ―合理的配慮を踏まえて― 明星学苑法人本部企画部課長 村山光子氏 <p>参加者：20大学37名（男30名、女7名）</p>				
5. 評価	<p>各大学の新任教員の方が、日々の授業で感じている問題点や、それらに対する授業内での解決方法や工夫などが共有できた。 大学における様々な教育実践の形を学ぶことができた。特に学生への学習指導の新しい取り組み、及び「従来型」の大学教育の課題と利点について考える機会となった。</p>				
6. 執行体制	<p>主催：公益財団法人大学セミナーハウス 共催：ネットワーク多摩</p>				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0	
	支出	0	0	0	
	収支	0	0	0	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
平成28年度 事業報告書

1. 事業計画名	第Ⅲ事業 国際交流			
2. 事業名	キャンパスTAMAプロジェクト			
3. 事業趣旨	各加盟大学では、グローバル化対応、少子化対応などのテーマから、それぞれ留学生を入学させるための施策を実施している。これら大学の共通施策として、各大学が連携し、留学生にとって魅力ある大学の在り方を探る。			
4. 事業内容・実績	<p>産官学連携による、外国人留学生と日本人学生、地域住民等が活発に交流する「24時間眠らない街 多摩」実現を目的とした委員会「国際化委員会」「国際化委員会ワーキンググループ」については、2017年度の本格稼働に向け、メンバーがほぼ確定した。</p> <p>外国人留学生に関する各種業務に直接携わっている大学職員の会合である「留学生国際センターネットワーク」は、以下のように2回実施。 第1回 平成28年10月4日(火) 参加：9大学11名、5企業・団体5名 第2回 平成28年12月20日(火) 参加：6大学9名、6企業・団体6名 現場職員が抱える課題を、加盟大学全体で解決することを目的に、今後も継続実施する。</p> <p>文部科学省の公募事業「留学生就職促進プログラム」へ、当会のネットワークをベースに申請。 申請者は加盟大学の拓殖大学、作業は当会と一部会員企業で行う予定。 採択された場合、最大25百万円の予算が下りる。</p> <p>なお、平成29年4月中に面接審査があり、その後採択グループが決定される。</p>			
5. 評価	<p>加盟大学の多くは、留学生数増加の方針がある。実際に大きく増加した加盟校もあるが、各方面へのヒアリングにより、まだまだ課題が多いことが判明している。 特に今年度は、文部科学省の公募事業「留学生就職促進プログラム」へ拓殖大学に幹事校になっていただき申請したが、国としても留学生の就職・インターンシップ受け入れ企業の開拓に注力する方向にあるため、上記プログラムの採択の可否に関わらず、課題解決のための活動は必要と思われる。</p>			
6. 執行体制	事務局			
7. 事業収支 (単位：円)	計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0
	支出	0	0	0
	収支	0	0	0